

第27回

# 放送文化基金賞



財団法人 放送文化基金

2001年 6月22日(金)

東京・日本海運倶楽部

## 出演者賞

### 「娘三味線へんろ旅 ～1400キロ・心を探す道～」の 月岡 祐紀子



#### ▶ 受賞のことば ◀

盲目の女旅芸人、瞽女さんの音楽に出会ったのは高校生の頃。その強烈な三味線と歌声にひかれ、歩き旅を追体験したいと願ううち、いつしか四国巡礼の旅を思い立ちました。

88のお寺で奉納演奏をしながらの約60日。四国の自然とたくさんの出会いに満ちたこの遍路旅は、単なる芸の枠を遥かに越えた、大きなものを私に与えてくれました。

今回このような身に余る賞をいただいたのは、スタッフの皆様はじめ、番組に携わったすべての方々のお蔭です。ありがとうございました。

これからも新しい三味線音楽に挑戦したいと思います。

月岡 祐紀子

## 企画賞

### 「小さな留学生」の 張 麗玲



#### ▶ 受賞のことば ◀

今、日本と中国の関係は、決して順風満帆ではなく、今後も難しい時代が予想されます。しかし、今後のアジア、そして世界の情勢が、どんなに複雑な状況にあっても、平和な世の中であるよう、切望します。その為に、それぞれの国に住む人々が国と言う枠を超えて、お互いを尊重し合えるような世の中が生まれたいら、どんなに素晴らしい事でしょう。

そんな世の中を皆様と一緒に、作って行けるように頑張っていきたいと思っています。

此の度の受賞に際しまして、関係各位の皆様、視聴者の皆様、応援して下さいました総ての皆様に、心より御礼申し上げます。

張 麗玲

金曜エンタテイメント

# 小さな留学生

フジテレビ

平成12年5月5日(金) 21時00分～22時52分



主人公の張素(ちょう・そ)ちゃんは日本で働く父親を追って母と中国からやってきた9歳の女の子。羽田空港から八王子の家へ向かう電車の中で、「祖国のために、勉強で一番になる」と父親に語った。しかし、日本語がわからない張素ちゃんは登校初日、押し寄せる日本語の波に圧倒され、涙する。小さな胸に去来する孤独感…。そんな彼女の心を解きほぐしたのは日本の担任の先生やクラスメートだった。しだいに日本に溶け込んだ彼女。しかし、父親の仕事の都合で2年後、突然帰国するこ

とになった。彼女が中国に持ち帰ったもの。それは勉強で一番になることでも、学級委員長になることでもない、別の人生の“宝物”だった。

日本と中国が少しでも近い国になってほしい——そんな思いを込めてこの番組は4年間の歳月をかけて作られた。制作者は自身もかつて留学生だった張麗玲。今、この日本で懸命に生きている中国人留学生の姿を克明に記録し続けた。中国人のなかにある、これまでのニッポンのイメージを塗り替えたと評されるほど、中国全土に空前の社会現象を起こした番組。



企画・総監督／張 麗玲(東方吉祥)

プロデューサー・

日本版制作／横山 隆晴

ディレクター・

撮 影／張 煥琦(東方吉祥)

編 成／川上 大輔

撮 影／遠藤 一弘(コンドル)

編集協力／井上 秀明

音響効果／田中 政文(T.S.P)

## ▶ 受賞のことば ◀

この番組の企画がスタートした、1996年当時。まさか日本のテレビ局で、それもゴールデンタイムで放送されることになるとは、夢にも思っていませんでした。

中国国内に続き、日本でも大勢の人々に見て戴くことができ、心より嬉しく思います。

日本と中国との間には歴史的な過去の出来事のみならず、簡単ではない状況が、さまざまな形で存在しています。

しかし、隣り合っている国。多くの障害を孕みながらも、それらを、ひとつひとつ乗り越え、お互いが尊重し合える時代を、次の世代に託したいと思います。

このドキュメンタリーが世に送り出されるまでには、本当に大勢の人々の応援と支えがあった。それがあってはじめて、番組が、海を越えた。さまざまなこと、総ての人々に対し、深く頭が下がります。

そして今回、望外な評価まで戴きましたこと………謝謝。

スタッフ一同